

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	946 道路維持経費	会計	01	一般会計
		款	08	土木費
		項	02	道路橋梁費
基本施策	50 市内道路網を機能的に強化する	目	02	道路維持費
		細目	341	道路維持経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	道路維持経費
担当部課	コード	600100		担当者氏名
	名称	鳥ヶ原振興課		
		連絡先	西口昌寛	59 - 2294 (内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	主に管内の市道利用者等	※対象件数
成果(どうする)	安全・安心に道路を利用することができる。	
根拠法令・要綱等	道路法・伊賀市市道管理規則	
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	市道維持補修(舗装補修、除草作業ほか)	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
舗装補修箇所数		箇所	目標	10	目標	10
			実績	14	実績	13
除草作業実施箇所数		箇所	目標	16	目標	16
			実績	16	実績	16

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
舗装補修箇所数		地元要望箇所も含め、補修の必要がある箇所を整備することが、通行しやすい道路の実現に資する。	路線数	目標	10	目標	10
				実績	14	実績	13
草刈実施回数		地元要望箇所も含め、草刈の必要がある箇所を整備することが、通行しやすい道路の実現に資する。	路線数	目標	16	目標	16
				実績	16	実績	16

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計(A)	0		0		5,140		9,090	
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0		0				
	一般財源	0		0		5,140		9,090
事業投入人件費(B)	0.0 人		0.0 人		0.4 人		2,880	0.4 人
フルコスト(A)+(B)	0		0		8,020		11,970	

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を <input type="text" value="100%"/> 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 <input type="text" value="無"/>	
【予算の繰越がある場合、繰越の種別】 <input type="text"/>		
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
受益者負担を求めることができる事業である。		
全体コストにおける負担構成は適正である。		
コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	事業予算を維持する必要がある。
昨年度の取組状況	【状況】 <input type="text" value="計画のとおり進んでいる"/>
	【詳細】

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	増永 由美
事業の方向性	【方向性】 <input type="text" value="現状維持"/>
	【理由】
現時点における課題、その他	市道利用者等の安全で快適な通行を確保すると共に、除草作業を含めた維持補修等管理に努める。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	管内全域で道路補修及び地元要望箇所も含め、補修の必要がある箇所を整備しなければならないが、予算等考慮しながら実施していく。
	安全・安心に道路を利用するために、引き続き事業予算を確保し整備していく。